

MS-0012 後方用点滴棒ホルダー

取扱説明書

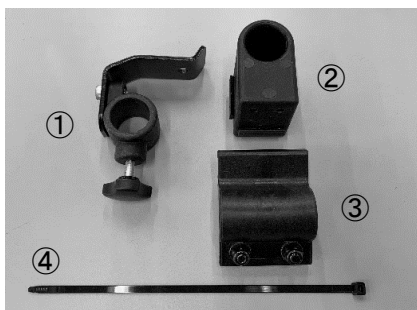
この度は、本製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に保管しておいてください。

注意・警告

- ・対応する点滴棒の径: $\Phi 16 \sim \Phi 22$ (別売)。
- ・点滴棒の固定以外での使用はしないでください。
- ・使用される際は、使用前に金具等がしっかりと固定されていることを確認してください。
- ・車いす後方に本製品とボンベ架等その他のオプションと併用して取付される場合は、ボンベ等の重量の大きいオプションを取りつけた際、後方に転倒する危険性がありますのでご注意ください。また、移乗の際は、注意してご利用ください。
- ・ボックスホルダーは、テッピングレバー径 $\Phi 17.5$ 用になっております。 $\Phi 19$ 用、 $\Phi 22$ 用 (別売) もございます。適合するボックスホルダーを使用してください。

はじめにご確認ください

本製品購入後、はじめて梱包箱をあけるときに、下記のものがすべて入っていることを確認してください。



No.	名称	個数
①	L字金具(ノブボルト含む)	1
②	点滴ボックス	1
③	ボックスホルダー(ボルト、ナット含む)	1
④	結束バンド	1

<使用工具>

- 六角レンチ (5mm) × 1
- スパナ (10mm) × 1
- プラスドライバー × 1
- ニッパー × 1

取付方法

右側取付けで説明

1. L字金具と、点滴ボックス+ボックスカバーを組み付けます
取付機種によって組み付けが異なりますので、右表を参照に、(A)または(B)のように組み付けしてください。

L字金具の組み替えは、六角レンチでキャップボルトを外し、反対側に付けたあと、締め直します。
(ナイロンナットの紛失に注意)



取付機種	(A)	(B)
	・LK-2以外	・LK-2 ・(A)でフレームに干渉する場合
L字金具	 →外側	 内側←
点滴ボックス + ボックスホルダー	 前後方向(※)	 左右方向

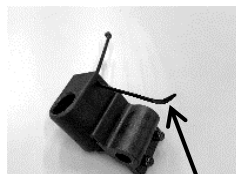
(※) 右側取付の場合。左側取付の場合は前後逆にします

2. 車いすの両輪の駐車用ブレーキをかけます。

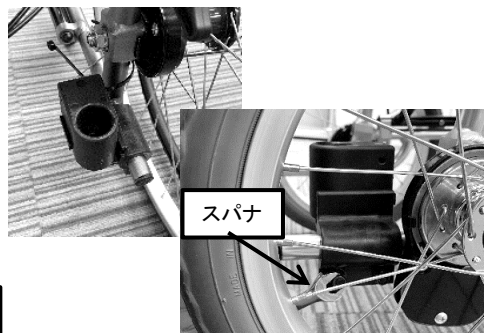
3. 手順2で組み付けたボックスホルダーに、結束バンドを挿入しておきます。

車いす本体の左右どちらかのテッピングレバーに、点滴ボックスが内側に来るよう差し込みます。

スパナで2箇所六角ナットを締め付けます。
(締めすぎに注意。破断の原因になります)



先を
曲げておく
と
入れやすい



4. L字金具を背パイプに固定します。

(推奨: 背折れジョイントの上。シート固定ビスを利用)
固定ビスを外して、同じ位置にL字金具を固定します。

背折れジョイントのレバーが作業を行なうのに邪魔な場合は、レバーを横向きにして作業を行なってください。

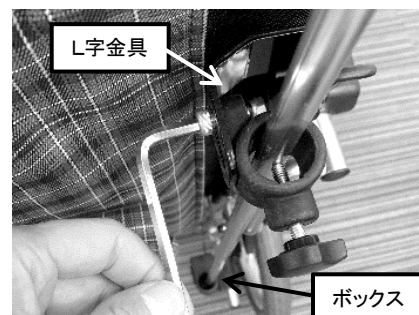
※フレームのネジ山に合うようゆっくり締めてください。ネジ山をつぶす恐れがあります。



5. 点滴棒を上からL字金具、点滴ボックスに差し込み、ノブネジで軽く固定します。

6. 点滴棒がフレームに当たらないよう、L字金具の位置を調整します。

L字金具はキャップボルトを六角レンチでゆるめ、前後や角度を調整します。位置が決まったら再度締めつけます。
必要に応じてホルダーも前後の位置を調節してください。



7. ボックスに挿入していた結束バンドを締め付けて、余分な箇所をニッパーで切り落とします。
(カット面によるけがに注意)



取付完了。

使用時は、点滴棒を差し込んだあとに、L字金具のノブネジをしっかり締めて、点滴棒が固定されていることを確認してください。